

藤島山野草愛好会が 薬木園整備完了し、竣工祝い

藤島山野草愛好会（工藤正喜会長）はこのほど、藤浪1丁目に薬木園整備を完了し、21日に竣工祝いを開催しました。

薬木園は、1999年4月29日に、当時の齋藤伝三郎会長ら有志によって草木塔が建立され、現在の工藤正喜会長ら会員有志によ

て、周辺整備がおこなわれました。

石碑周辺の瓦チップは20〜30センチの厚さで敷き詰められ、山形県HPには、「瓦の持つ温かみのある色調により、華やかさと明るいイメージを演出できました」と掲載されています。

右側（東側）



には、横手市増田町の満福寺を由来とした延命地蔵（コロリ地蔵）が配置され、健康で長生きして、ピンピンコロリと大往生が叶うよう、お参りできるようになっています。



村の四季 46

鈴木重雄（八色木）

倉入れ

終戦後、食料不足が深刻になり、生活用品は勿論、主食も配給制となり、農家に米の出荷を強制した。

昭和22年には強権発動によって、各農家の庭先に係官が巡回し、供米の在庫調べをしたこともあった。

この年から早場米出荷奨励金制度があつて、早期出荷を促した。農家は奨励金を稼ぐため、夜を徹して米調整に働いた。

われ先と、夜中の3時頃から馬車で藤島倉庫に並んだ。倉庫の敷地から溢れ、新町橋まで入庫の行列が出来た。特に、期末になると倉庫だけでは収容できないので、各農協とも

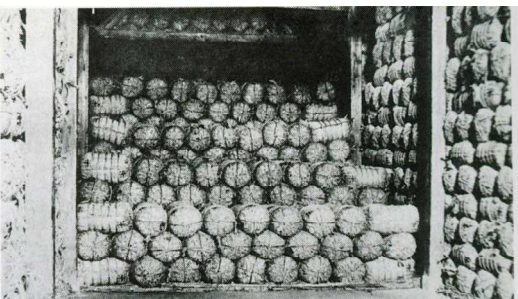
学校の体操場が臨時検査所の指定を受けていた（藤島地区は各部落集会所）。

期末日は夜12時までの受付なので、農協職員は体操場の教壇に布団を敷いて米の監視に、米の検査終了まで、泊まり込みをしなければならぬ。

広い体操場に1俵ずつ秤にかけて並べてゆき、その上にまた1列に並べ、3俵の嵩上げである。幸い八栄島小学校の床は抜けなかったが、他の地区では抜けたと言う話もあった。

この時期は、食糧検査員も能力が試される大変な重労働であった。以後、労務改善がなされ、時間外検査は禁止された。（つづく）

倉庫風景



コロナ5類でどう変わる？

新型コロナが8日から5類に移行となり、インフルエンザと同等の扱いのため、インフルエンザに対応している医療機関ならどこでも受診可能となりました。

しかし、感染を防ぐため、一般の診療と分

けなければならず、「発熱外来」でコロナ検査を受け、結果を待つて受診となります。

自己負担が発生

これまでではコロナ陽性確定後の医療費は、全額公費で負担していた

ましたが、5類移行後は経過措置があるものの、通常の保険診療として自己負担が発生します。

ただし、高額なコロナ治療薬の費用は、夏の感染拡大も想定して、9月末まで引き続き公費で負担されますが、その後は他の疾病との公平性を考慮しながら、検討することになっていきます。

公費負担がなくなれば、例えば治療薬のラゲブリオの自己負担額は、最大で3万2470円になります。

療養5日間

5類移行後の感染者の療養の目安は、発症翌日から5日間の外出の自粛で、5日目に症状が続く場合は、軽快から24時間程度まで延長するとしています。

厚労省は「新しい生活様式」に変わる「新しい健康習慣」を3月に発表しました。

と全国に広まった。

『原爆許すまじ』『沖繩を返せ』『若者よ』などがよく歌われた。

日教組は、1951年「教え子を再び戦場に送らない」をスローガンに、早くも第1回全国教研集会を開催、各地域で運動の中心になって行く。

1950年6月1日、ひでは、県教祖書記になった。

「自分を鍛えなおさなければならぬ」と誓っていたひでは、運

動に飛び込んでいく。

1957〜58年の勤評闘争スローガン「勤評は戦争の一里塚」は、県教祖が日教組大会で提案したもので、全国で唱和されることになった。

県教祖書記の会という名の労働組合もつくった。

ひでは、とりわけ農村の母親運動に力をいれた。

新任は小田島村の小学校で、日本農民組合山形の小田島支部があ

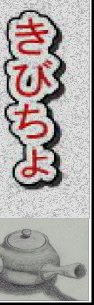
り、土地取り上げ反対、仕事よこせなどの運動が活発な村であった。

ここでひでは、農村の貧しさを見ていたのである。

これらの運動が結集し60年安保闘争という壮大な国民運動に発展して行く。



(写真…国会を取り巻く数十万人のデモ。)



異常気象のせい

毎年思うのが、藤の花祭りの日取りの難しさと担当者のご苦労だ。今年のそれは、当初計画から2週間早められた事を知っている人は多くないと思う。2週間早めても、遅いのではないかと思われる気温の状況だったのだ。

▲だから、出品依頼に2週間早くなったからとのTELに、まだ花が残っていたればナ、と返事したんだ。ところがその後は低気圧続きで、4月29、30日でも満開にならないという温度経過だったのだ。

▲開会セレモニーは晴天で、太鼓の響きは良く、大勢を喜ばせてくれたが、その後は、高温が続かないので開花期間が長く、多くの人が長く楽しんだ模様。

▲歴史公園と藤ロードを観てグラウンドゴルフ場の花を観ないで帰

った人がいたのでは？
ここだけですか・と聞かれて、左に曲がると信号があるから、そこを超えると小学校があるから、そこを見て行ってくれ。何処からおいでか、ありがとうございます・と申し上げたんだが。

▲夏日だ・真夏日だ・異常高温だと、体に気をつけるよう注意される日が何日か続いている。盆が早く来て早く戻るのではないかと心配だが、これは柿の話だ。10日ほど柿の成長が早いので、消毒を早めるようにとあったので、1回目を終えた。

▲枝を見ると、全体に葉っぱが小さいんだ。たまにそれより大きな葉っぱがある。これにだけは2つ・3つと蕾が見える。という事は、摘蕾不要。俺の場合、おとしは収穫後無で、今年は似た模様だぜ。遅霜の被害よ。(石川)

ひと

村山俊太郎・ひで夫妻

青山 崇

1950年代の日 本とひで②

1955年6月「生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」をスローガンに第1回全国母親大会開催(写真)。
さらに運動を励ました「うたごえ運動」が、



「うたごえは平和の力」